

7 避難退域時検査及び避難支援ポイント

- ・避難経路上で、避難退域時検査を実施。
- ・併設する避難支援ポイントでは、避難住民に対する総合的な支援(情報提供(ガソリンスタンド、避難所、事故情報等)、食糧、水、トイレ)を実施
- ・米子自動車道沿いの検査会場では、鳥根県の避難住民への対応も想定。



区分	検査会場		備考
	名称	住所	
避難支援ポイント併設 (主要経路沿い)	① 東伯総合公園体育館	〒689-2356 琴浦町田越560	避難者 (避難経路①)
	② 中山町農業者トレーニングセンター	〒689-3112 大山町下甲1022-5	
	③ 名和農業者トレーニングセンター	〒689-3212 大山町名和1247-1	
	④ 江府町立総合体育館	〒689-4413 江府町大字洲河崎62	避難者 (避難経路②または③)
	⑤ 伯耆町B&G海洋センター	〒689-4102 伯耆町大原1006-3	
	⑥ 倉吉市関金農林漁業者等健康増進施設	〒682-0411 倉吉市関金町関金宿1560-18	
	⑦ 旧那岐小学校	〒689-1451 智頭町大背205	
避難所併設 (東部・中部)	① 布勢総合運動公園県民体育館 (コカ・コーラウエストスポーツパーク)	〒680-0944 鳥取市布勢146-1	避難者のうち 検査を受けられなかった方
	② 鳥取砂丘コナシ空港国際会館	〒680-0947 鳥取市湖山町西4丁目110-5	
	③ 倉吉体育文化会館体育館	〒682-0023 倉吉市山根529-2	
保健所併設	鳥取市保健所	〒680-0845 鳥取市宮安2丁目104-2(さざなみ会館2階)	検査希望者
	倉吉保健所	〒682-0802 倉吉市東巖城町2	
	米子保健所	〒683-0802 米子市東福原1丁目1-45	

※米子保健所は遠やかに、鳥取市保健所・倉吉保健所は避難指示後20時間以内に設置

車両除染用資機材の標準化及びシステム化

1 目的・概要

避難退域時検査におけるバス等の大型車両の除染用資機材を標準化した上で、コンテナに収納し一括管理することで迅速な輸送体制を構築。

2 コンテナに収納する主な資機材

- ・大型車両除染用テント
- ・高圧洗浄機
- ・発電機
- ・排水処理ポンプ 等



【運用イメージ】

平常時



- ・ 資機材をシステム化し、コンテナに収納して、一括管理。
- ・ いつでも輸送業者が搬送可能な状態にしておき、被災していない地域から被災地域の近傍まで輸送を行う(輸送の主動を確保)。

災害時



- ・ トラック等で避難退域時検査会場へ輸送。
- ・ 要員は参集するのみ



- ・ 避難退域時検査会場でテント等の資機材を展開し、大型車両の除染を実施

8 住民等への普及啓発

原子力防災対策については、住民の放射線に対する正しい理解と防護対策への共通の理解が重要であるため、普及・啓発活動をPull型・Push型など様々な形で実施

放射線に関する
基礎知識の普及



放射線に対する
正しい理解

CATV情報番組

原子力防災訓練

出前説明会

原子力防災
ハンドブック等

原子力防災講演会



広域住民避難計画
等の周知

災害時の適切な対応

住民説明会
(米子市、境港市)

原子力防災の
取組の周知

原子力施設見学会(島根原子
力発電所、オフサイトセンター等)

原子力防災に
関する正しい理解

とっどりの
原子力防災2018

県政広報(県政だより、とりリンク、
新聞、ラジオ、ホームページ等)



原子力防災に関する
安心・安全の確保

原子力防災普及啓発（講演会）

I 原子力防災講演会（全県民対象）

放射線や放射線防護などについて学び、県民の方が原子力災害時に適切な対応や行動がとれるようにするため、県民を対象とした原子力防災講演会を開催。

この講演会は、福島第一原子力発電所事故後の平成24年1月より開催し、これまで8回開催。

平成30年度の講演会は、米子市内・境港市内の2か所で開催予定。

<予定> 開催時期：5月頃

会 場：米子市、境港市

内 容：放射線・放射能の基礎と人体への影響

【平成29年度講演会開催内容】

(1)日 時 6月17日(土)、18日(日)

(2)場 所 米子市役所401会議室、境港市保健相談センター

(3)参加者 県民 約120名

(4)内 容

〔演 題〕放射線と私たちの健康

〔講 師〕長崎大学原爆後障害医療研究所

助教 折田 真紀子(おりた まきこ)氏

(5)実施体制

主催：鳥取県、境港市、米子市

後援：日吉津村、大山町、伯耆町、南部町、日南町、日野町、江府町



原子力防災普及啓発（研修会）

Ⅱ 放射線研修会（東部・中部地域の住民及び行政職員を対象）

原子力災害発生時の住民避難については、UPZの住民だけでなく、避難先の住民等の理解も必要である。広域住民避難計画において、県内を避難先としており、平成25年度から東・中部地域の県民、市町や県の職員を対象として、放射線の人体への影響や放射線に関する研修会を開催。

平成30年度の研修会は、東部・中部地域で各1回の開催を予定（7～8月頃）。

【内容】

放射線による人体への影響等、住民からの相談対応等行政活動に資する研修。参加も可能です。

【平成29年度実績】

	中部地域	東部地域
日時	7月31日(月)13:30～15:00	8月1日(火)10:00～11:45
会場	県立倉吉体育文化会館 小研修室2 〔倉吉市山根〕	県東部庁舎 第202会議室 〔鳥取市立川町〕
参加者	中部地域の市町・県職員等 約20名	東部地域の市町、県職員等 約20名
内容	〔演題〕 福島第一原発事故の教訓を得て～今から学ぶ放射線と健康影響～ 〔講師〕 公益財団法人 原子力安全研究協会 研究参与 菊地 透(きくち とおる)氏	
実施体制	・主催：鳥取県 ・共催：倉吉市、三朝町、湯梨浜町、 北栄町、琴浦町	・主催：鳥取県 ・共催：鳥取市、岩美町、八頭町、 若桜町、智頭町

原子力防災普及啓発（現地研修会〔見学会〕）

Ⅲ 原子力防災現地研修会（全県民対象）

原子力発電についての正しい知識と防災・安全対策などについて県民の方々に知っていただくため、平成24年度から原子力防災研修会（見学会）を開催。

平成30年度の現地研修会（見学会）は、一般県民向け2回（4/22、10/24）、小中学生向け1回（8/5）の計3回開催予定。

【平成29年度実績】

	第1回	第2回(夏休みバージョン)	第3回
日時	平成29年4月23日(日) 10:30～15:30	平成29年8月6日(日) 10:40～15:30	平成29年10月25日(水) 10:30～15:20
参加者	県民 24名	小学5年生以上の小中学生とその保護者32組73名	県民 23名
研修先・研修内容	○島根原子力防災センター 〔松江市内中原町〕 ・原子力発電・放射線について ・原子力防災について ・鳥取県の原子力防災について ・施設内見学 ・質疑応答 ○中国電力(株)島根原子力 発電所〔松江市鹿島町〕 ・概要説明 ・原子力館内見学 ・発電所構内見学(バス車内から) ・質疑応答	○島根原子力防災センター 〔松江市内中原町〕 ・放射線って何だろう？ ・どうやって避難するの？ ・原子力防災って何だろう？ ・放射線を測定してみよう ・質疑応答 ○中国電力(株)島根原子力 発電所〔松江市鹿島町〕 ・概要説明 ・原子力館内見学 ・発電所構内見学(バス車内から) ・質疑応答 ※バス車内でDVD研修 放射線の利用、原子力防災訓練	○島根原子力防災センター 〔松江市内中原町〕 ・原子力発電・放射線について ・原子力防災について ・鳥取県の原子力防災について ・施設内見学 ・質疑応答 ○中国電力(株)島根原子力 発電所〔松江市鹿島町〕 ・概要説明 ・原子力館内見学 ・発電所構内見学(バス車内から) ・質疑応答